

クロルピクリン剤使用上の注意点

クロルピクリンは、カンショ、キュウリ、トマト、ハクサイなど多くの野菜の土壌病害虫に有効な薬剤です。

一方、適正に使用しないと、刺激性のあるガスが急速に気化し、作業者本人、周辺の農畜産物や住民に被害を及ぼすことがあります。

使用するには、正しく被覆を行い、ラベルに記載されている注意事項をよく読んで使用するようになしてください。

作業の流れ

機具・
薬剤の
準備

畑の
耕起・
整地

薬液
注入
①

被覆
②

被覆
除去

ガス
抜き
③

定植・
播種

作業後の
空き缶処分
④

食品等と分けて、鍵のかかる
冷暗所に「**医薬用外劇物**」と
表示して保管 ⑤

- ① 住宅、畜舎、鶏舎周辺ではガスによる危害防止に配慮しましょう。
(例えば、気温・風向き、厚めのシートで被覆、事前のお知らせ等)
眼、のど、鼻を刺激するので防護マスク(土壌くん蒸用)と保護メガネのゴーグル等の適切な保護具を着用しましょう。



- ② ラベルを確認し、薬液注入後は直ちに覆土とシート(0.03 mm以上)でしっかり被覆しましょう。

- ③ ハウスでは開け放してから処理し、作業(被覆)後は直ちに密閉します。
ハウスにはガスが抜けたこと(臭気が無いこと)を確認してから入りましょう。

- ④ 薬液は使い切り、他の空容器への移し替え・小分けをしないでください。
使用済容器は残液・残臭を確認して、**産業廃棄物として処分**しましょう。

- ⑤ 誤飲、誤使用、盗難等を防ぐため、食品等と分けて、鍵のかかる冷暗所に
「**医薬用外劇物**」と表示して保管し、きちんと台帳管理をしましょう。



- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。